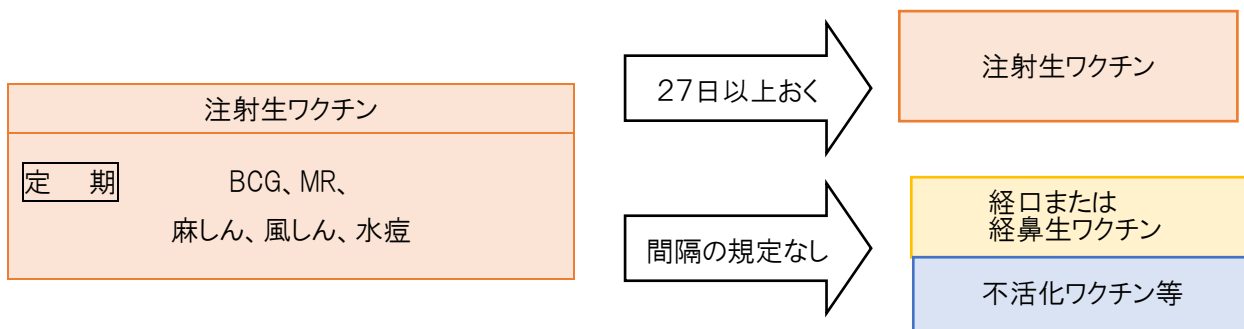
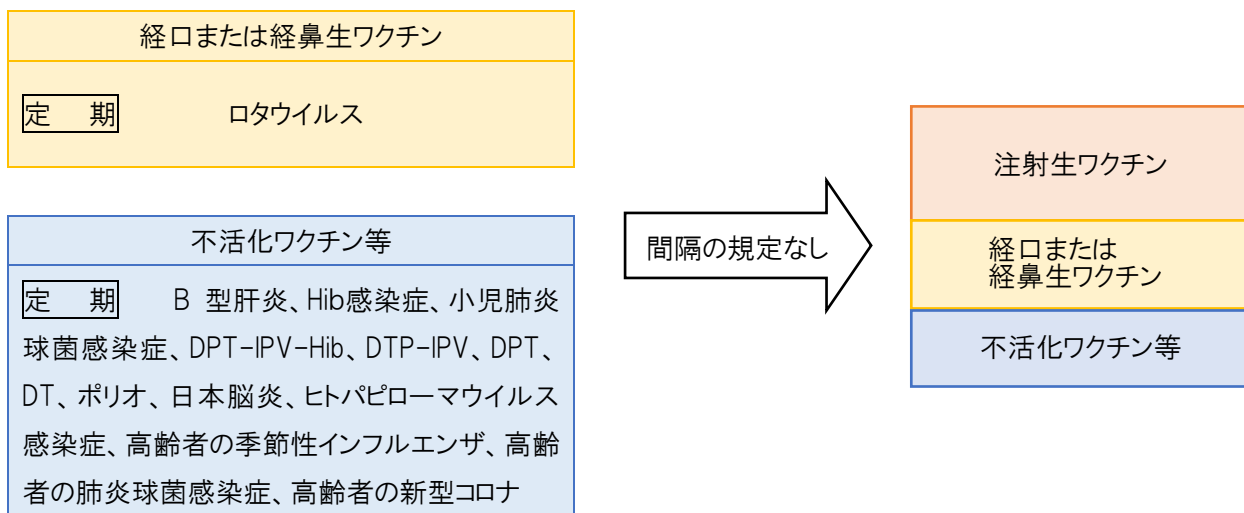


異なるワクチンの接種間隔



※注射生ワクチンを接種した日の翌日から起算して、別の注射生ワクチン接種を行う日までの間隔は、27日以上おく
 ※注射生ワクチンを接種してから経口生ワクチン及び不活化ワクチン接種を行うまでの間隔に規定はなし



(注意)

- ・接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹などの症状が出ることがあります。規定上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や接種部位の腫脹がないことなど、体調に問題がないことを確認してから、接種してください。
- ・特に医師が認めた場合、同時接種を行うことができます。
- ・同一のワクチンを複数回接種する場合の接種間隔については添付文書等の規定に従ってください。